

ユーラシアを歩く会 行動報告書

The Trans-Eurasia Walking Journey Program

1. 計画コース概要

提出日:2008 年.10 月

22 日

地域分類	中国東部1	区間番号	XX
国名	中国	実施期間	2008.09.21~10.4
計画区間	出発地 鄭州 ~三門峡 (前半) 鄭州 ~ 沙河 (後半)	参加人数	10 人(前半 4 人、、後半 4 人、全 2 人)

2. メンバー表

No	役割・分担	氏 名	行き	帰り
1	リーダー	和田航一 (2 期)全	平成 20 年 9 月 21 日(日)前半・ 27 日(土) 後半	9 月 28 日(土)前半 10 月 4 日(土)後半
2	サブリーダー	住山 茂(12 期)前		
3.		篠崎次郎(7 期)前	羽田発	鄭州発(前半)上海經由 北京発(後半)上海經由
4		池辺一男(9 期)後		
5.		栗田宏和(14 期)後		
6	食料	早川東城 (3 期) 前	到着場所 上海經由 鄭州 空港	羽田着(前半) 成田着(後半)
7		斎藤篤二 (6 期) 後		
8	会計	江守善昭 (5 期) 全	使用便名	MU538-MU5391 MU5392-MU537 MU271
9	記録	中村文広 (5 期) 前	航空会社	中国東方航空
10		山崎隆 (17 期) 後		中国東方航空

3. 現地での歩行結果

	年月日	国名	出発～到着	区間距離 Km	天候	気温 最低/最高
1日目	9月21日 (日)	中国	羽田～上海虹橋空港 ～鄭州天中大酒店(ホテル)			
2日目	9月22日 (月)	中国	鄭州 G310 号三門峡へ、須水鎮～恐義市。 杜甫像前 1 班住山/和田(AM ナビ) 626KmP-646KmP. 20Km, 2 班江守/篠崎	69	晴れ	23.5℃(朝) 33℃(最高)

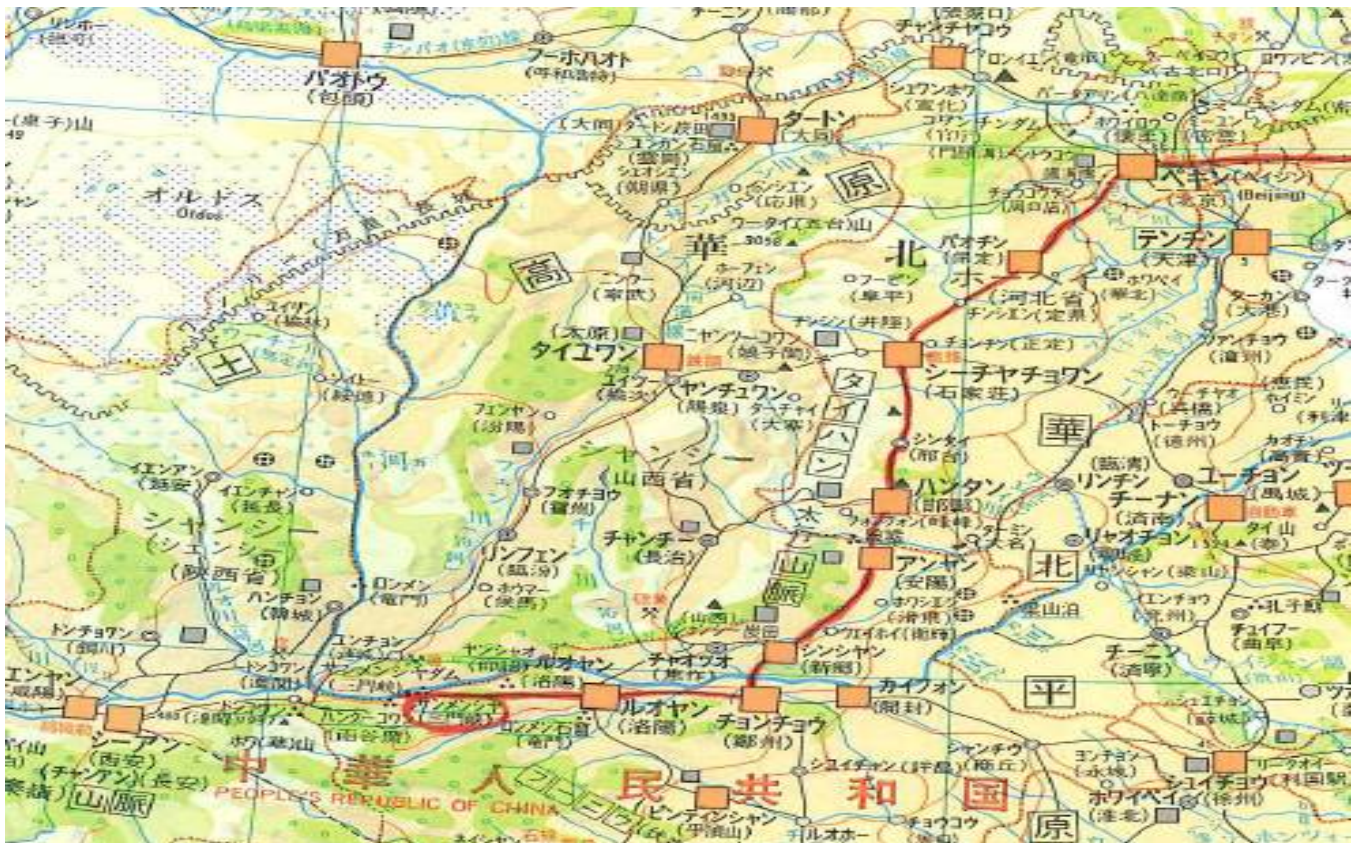
			<p>646KmP-666KmP.21Km, 3 班早川/中村</p> <p>684KmP-666KmP.18Km 2.3 班対面</p> <p>鄭州天中大酒店(ホテル)</p>			
3 日目	9 月 23 日 (火)	中国	<p>G310 号恐義市、杜甫像前～洛陽北郊外</p> <p>1 班和田,篠崎</p> <p>684KmP-709KmP,25Km</p> <p>2 班江守,中村</p> <p>709KmP-733KmP, 24Km</p> <p>3 班早川,住山</p> <p>754KmP-733KmP. 21Km</p> <p>(ホテル)洛陽、新友誼大酒店</p>	70	曇り	23℃ 26℃
4 日目	9 月 24 日 (水)	中国	<p>終日洛陽の観光</p> <p>龍門石窟、白居易(白樂天)の墓、関林廟、 洛陽、(ホテル)新友誼大酒店</p>		曇り	18℃ (朝) ～ 22℃ 日 中
5 日目	9 月 25 日 (木)	中国	<p>洛陽北郊外～西に向かい 824KmP 迄</p> <p>1 班早川、江守</p> <p>779KmP-754KmP,25Km</p> <p>2 班住山</p> <p>799KmP-779KmP,20Km</p> <p>3 班和田、中村</p> <p>824KmP-799KmP,25Km</p> <p>(ホテル)三門峽、金 塊酒店</p>	70	曇り 雨	21℃(朝) ～C
6 日目	9 月 26 日 (金)	中国	<p>南山公園入口 (前回歩行到着点) ～ 823.5KmP 迄</p> <p>1 班住山 823.5KmP-836.5KmP13Km</p> <p>2 班中村、篠崎</p> <p>850KmP-836.5KmP 13.5Km</p> <p>3 班早川 864KmP- 864mP. 14Km</p> <p>4 班江守 864KmP- 14 Km</p> <p>5 班和田 878KmP-</p> <p>(ホテル)三門峽、金塊酒店</p>	54	小雨	21℃～ 10℃以下
7 日目	9 月 27 日 (土)	中国	<p>三門峽、黄河公園、三門峽博物館見学</p> <p>鄭州に戻る。</p> <p>黄河遊覧区 前半組み上海に向う</p>			

			後半組み羽田・出発 上海虹橋空港 ～鄭州天中大酒店(ホテル)			
8日目	9月28日 (日)	中国	前半組み羽田・帰国、後半組み1日目歩行 開始 鄭州から新郷(シンヤン)手前 669Kp 附 近まで約 40km(107号線) 1班栗田、山崎 709Kp?黄河大橋前-694Kp. 15km 2班池辺、斉藤(篤) 694Kp-679Kp?. 15km 3班江守、和田 669Kp? 新郷 10km 手前- 679Kp .10Km 鄭州天中大酒店(ホテル)	40	小雨 模様	15°C? ~ 18°C
9日目	9月29日 (月)	中国	新郷附近から鶴壁附近まで約 70km(107 号線) 1班和田、池辺 621Kp 鶴壁市入り口- 596Kp. 25Km 2班江守、栗田 621Kp-省道 101号 (646Kp) . 25Km 3班斉藤(篤)、山崎 667Kp (669Kp)- (646Kp) .21Km(23Km) 鶴壁 淇河賓館(ホテル)	71(73)	曇り	12-3°C? (朝) 26-7°C? (日中)
10日目	9月30日 (火)	中国	鶴壁附近から安陽(アンヤン)～磁県附近まで 約 70km(107号線) 1班江守 596Kp 鶴壁市入り口- 596Kp. 22Km 2班斉藤(篤) 549kp - 549kp 3班池辺、栗田 549kp 安陽市街抜ける- 528Kp. 18Km 4班和田、山崎 515Kp 磁県附近- 528Kp. 13Km 鶴壁 淇河賓館(ホテル)	73	晴れ	
11日目	10月1日 (水)	中国	磁県附近から邯鄲(ハンタン)～沙河大橋、邢 台(シタイ)手前近まで約70km(107号線)歩 行して終了	69	晴れ	

			1班山崎 515Kp 磁県附近-492Kp. 23Km 2班齊藤(篤).栗田 474Kp-492Kp. 18Km 3班池辺、 474Kp-442Kp.. 18Km 4班和田、江守 432Kp 沙河大橋前(到着点)-442Kp.?.10Km		
12日目	10月2日 (木)	中国	終日観光、 邯鄲市博物館、公園、 石家荘河北省博物館見学		晴れ
13日目	10月3日 (金)	中国	石家荘より高速道路(370Km)移動北京着 故宮見学・天安門・大柵欄、琉璃廠探索		晴れ
14日目	10月4日 (土)		北京から上海經由 成田着		雨

4.行程概念図；

中国東部1 (三門峡-邢台(シタイ)手前)



5.見聞録

5-1 総評

—ユーラシア歩き旅中国・中原に至る— リーダー3期 和田航一

ロンドン出発から12年、歩き旅は黄土高原を過ぎ、この秋中国は中原に達した。9月21日から2週間の旅となった。

前回の終点、黄河流域の三門峡から洛陽、河南省の省都・鄭州、安陽、邯鄲を通り石家荘の手前、北京まで400km地点、沙河大橋までの約520kmを歩いた。

平均年齢67歳、最高齢73歳メンバーが前半、後半延べ10人が参加し、2人歩き、1人歩きを交え各班1日20～25km程度の歩きとした。東西に延びる国道310号、鄭州から北京に向かい北上する107国道をたどり河北省に入った。

道の両側にポプラがそびえ、道に長い影を映している。村々では収穫した黄金色に光る玉蜀黍を乾し、畑には綿の白い実が点々と見える。木の梢ではカササギがジジと鳴いている。道々で出会う村人に「ニイハオ」と声をかけると、笑顔で「ニイハオ」返る。昼食は町外れで見つけた飯屋でビールと麺で済ませ、店の夫婦・子供と身振り手振り筆談で団欒しポラロイド写真を撮って渡し喜ばれた。中国語で作った歩き旅の趣旨書を示し、サインと感想を書いてもらう。趣旨に感動して昼食代を受け取らなかったこともある。今回は、北京外国語大卒、ガイド暦17年の張さん、伴走車ドライバー平さんに2週間お世話になった。張さんは中国の歴史も詳しく語り、張さんが育った鄭州お国自慢は好ましかった。日本の歴史や現状にも詳しく歩きチームの一員となって打ち解け、これからの北京、天津への旅にも同行を約束した。

洛陽では、杜子春が仙人に出会った洛陽西門を探したが城壁は無くなっていた。宿では毎夜、皆で一室に集まり強い白酒を飲み交わし、邯鄲の宿では歩き通した12年の“邯鄲の夢”を見た。邯鄲双台公園では地方紙・邯鄲晩報の記者が目ざとくわれわれを見つけ、写真を撮られ取材を受けた。その新聞記事を入手しようと手配している。鄭州で黄河は川幅を大きく広げ、1時間ほどホバークラフトで遊覧した。洛陽・竜門石窟、北京・故宮博物館は折からの国慶節で中国の観光客でにぎわっていた。中国の大きさ、多様性、あふれるエネルギーを直に体験し歩き旅に満足した。



とうもろこしを干すお母さん



黄河遊覧



足休めする住山さん



通訳・案内人 張さん

5-2 ルートの状況

前半グループは始発点鄭州市郊外から黄河の南側の国道310号を西に向かい前回の終点三门峡まで、約260Km 歩く。310号線は徐州に向うの中国幹線産業道路である。交通車両は多い。国道のキロポストは街中を除き程度完備されている黄河の南側を上流に向かうので若干登り下りの丘陵地帯であった。1-3日目は3班構成として、2,3班を対面歩行とした。4日目は一人歩行も組み入れ4班構成で歩行した。後半グループは鄭州市北側の郊外からいよいよ黄河を渡り、国道107号線を北京に向かい北上し、石家荘・邢台(シタイ)手前の今回終点の沙河大橋まで260Km 弱歩く。後半2日目鶴壁市先で107号線橋梁工事の為、省道101号線を歩く。107号是北京までの幹線道路ではあるが、交通量も少なく道路幅少し狭く、整備が悪い。中原地域なので平坦であった。国道のキロポストは街中で一部幕なるがほぼ完備されていた。1-2日目は3班構成で前半ぐる一歩と同じく、対面歩行とした。3-4日目は距離を稼ぐため、一人歩行も組み入れ4班構成対面歩行とした。

前半、後半とも各所に食堂がありほとんど食堂で昼食は食べられた。また5~8時間かけて歩いた

5-3 自然環境

黄河南岸の穀倉地帯から黄河を渡り、中国中原一帯は小麦、トウモロコシの大生産地帯である。国道沿いは、お店、住居があり、また、草木が茂り、後背にある広大な畑は良く見えなかった。河南省、河北省の西側にある太行(タイハン)山脈(山西省)からの河川が何本も107号を横切っていた。しかし、年々河川が濁水化している模様であった。前半初日は30度を越す暑さ、その後は曇り小雨模様となり、気温も下がって15-10℃と寒くなり、雨具、傘が必要とする天候であった。後半は晴れが続いて、快適な歩行、観光ができた。北京から帰国するころはまた雨模様と不安定な気象環境であった。

5-4 人々の生活

中央アジア族、回族などは見かけなくなり、漢民族がほとんど、主産業は農業だが、都市部は急速に近代化している。町中のバザール、市場、スーパーマーケットは食品、農産物は豊富。人々の生活も豊かそうであった。

各市の宿泊したホテルは日本の都市ホテル並みで、概ね施設も清潔で、今まで問題良くトラブルのあつ

たお風呂、シャワー給湯など不備がなく、快適であった。完備、今まで都市部の交通事情は歩行者と車が混在してひどい状態で、交通事故を見かけることもあった。

5-5 黄河沿いの町の食事・酒・その他

中原の料理：西域から中国中原に到り、辛さは控えめになり、日本でも見かける食べ練れた中華料理の味になって来た。特別料理としてスポン料理(前半組み)と北京ダック料理(後半組み)を満喫。さそりも食べた。白酒 ビール を満喫する。なんか皆さん酒量が減り気味？ でした。

6. 歩行会計報告

概要

個人	渡航費	約130,000 円	グループ 費合計	昼食・夕食費・ その他	180,000 円
	宿泊費	約 25,000 円		寄付金	2,600 円
	食費	グループ費で負担			
	その他	約 110,000 円			
	合計	26.5-28.5 万円		合計	182,600 円

会計係 江守善昭 (5 期)

グループ共通費収入

延 12 名各自 1 万五千円@16 円=1 元 : 11,250 元
 寄贈金(土屋さん) 2600 円 : 163 元
 11,413 元

支出

お土産代・お礼等 2,337 元
 共通食費等 2,782 元
 携帯電話 5,200 元
 渡しきり昼食費等 1,332 元
 11,651 元

△ - 238 元

携帯電話の料金が支出の 4 割以上を占めた。今後の削減の検討課題となる。

7. 人々との交流記録

次第に都会になって来たためか、行きかう人々に素朴がなくなってきた感じがした。

それでも、昼食時の食堂とか、ホテル、観光地でいろいろと交流することができた。

殷墟博物館でお嬢さんと交流・・・



道教のお坊さんとも交流



サイクリング韓国人と交流



邯鄲新聞記者から取材を受ける



京劇を 200 元で見て感激(北京)

以上